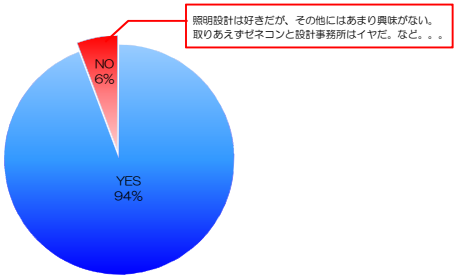
広島大学出張教室アンケート結果報告書

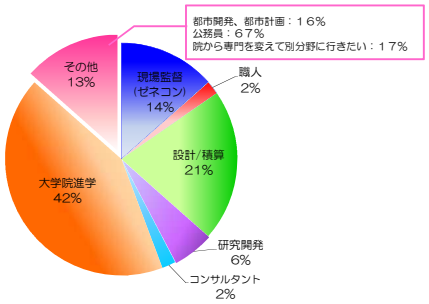
建築設備技術者協会　中国四国支部設備女子会において，広島大学出張教室参加学生向けにアンケートを実施した。「全回答」ならびに「アンケート結果要約・考察」を下記に示す。
有効回答数35
実施時期：平成28年10月7日

1．就職活動について

☆建築・建設業界の仕事に就きたいですか？　※有効回答数35



☆現在、魅力を感じるのは？　※複数回答有り



☆建設業界に就職するにあたり、こんなことを不安に思ってます

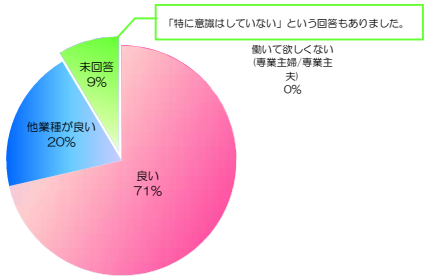
- 就職してから資格を取るまで何をするのか？
- 入社してからの生活
- 今後の日本の経済
- 今の時点で自分が何に適しているかが分からない
- 休めないんじゃないか？休みがきちんと取れるのか？
- 休みがどれくらいあるの？
- 残業が多そう、体力が要りそう
- すでに就職している友人にキツイと聞いているので不安
- 才能がものをいう業界だと思うので、そこが不安
- 就職が景気によって左右されそうなこと
- 大きな責任を伴うことについての不安
- 職が安定しているのかどうか
- 自分がやりたい仕事が出来るか
- 資格の勉強について
- まだ建設業界について分からないことが多いため、特にない
- 考えることが苦手
- 家庭との両立

☆その他聞いてみたいことは？

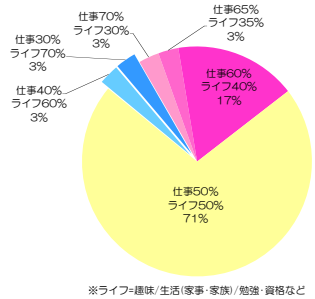
- 結婚生活と仕事をどのように両立しているのか？
- 就活は何社くらい受けたか？
- どのくらい残業しているのか？
- 家に帰れるか？
- 個人的に勉強しておいた方が良い事はあるか？
- どんな資格の勉強をしているのか？
- 就活のコツ
- 仕事内容は難しいと感じるか？
- 院に行った方が就職に有利か？
- ほかの業界に行きたいと思ったことはあるか？
- 資格の勉強はどのくらい時間を取っていたのか？

2．今の気持ちを聞かせて？

☆あなたのﾊﾟｰﾄﾅｰ(恋人や配偶者)が設備女子／設備男子だと、どう思う？　※有効回答数35



☆WLB(ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ)について、あなたが実現したい割合は？　※有効回答数35

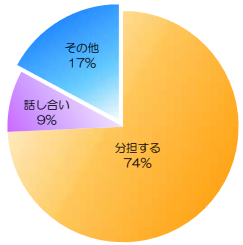


※ライフ=趣味/生活(家事・家族)/勉強・資格など

☆結婚したら仕事・家事・育児・介護の分担はどうしたい？　※有効回答数35

「その他」の内訳
一番多かった回答は、
「家事は女性メイン」：５０%
やはり、男性は家事が苦手なようです。
そのほかに
「専業主夫になれるならなりたい」
「分担は決めない」
などがありました。

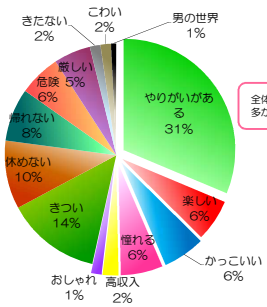
「話し合い」の内訳
「話し合って決めようと思う。ただ自分は料理は苦手だ。」や「相手の意見を尊重する」が大半でした。



「分担する」の内訳
・１位　半々で　３８%
「お互いを思いやり「片方に負担がかからないように」との意見からが多かったです。
・２位　その他　３５%
「分担しようとは思うが苦手な家事からは逃げたい」方が多かったです。
・３位　臨機応変に　１９%
・４位　可能な限り積極的に　８%
４位では「可能ならば育児休暇を取り、積極的に参加したい」との回答もありました。

※共働き前提での回答が多数でした。

☆建設業界へのイメージは？　※複数回答有り



全体的に良いイメージをもってくれている割合が多かったのが、とてもうれしいですね。

3．出張教室について

☆講演会について　※複数回答有り、有効回答数36

- 役に立つ内容だった　７４%
- 興味深い内容だった　２３%
- どうでもいい内容だった　３%

☆グループワークについて　※複数回答有り、有効回答数36

- 役立つ情報が収集できた　７２%
- 役立つ情報はなかったが良い経験になった　２３%
- あまり意味がなかった／未回答　６%

☆全体の感想

- 経験談を聞けて良かった
  - 就職に向けて、今やっておいた方が良い事などが分かった。
  - 実際に働いている人の話を直接聞く機会がないので貴重な時間となった。
  - ライフワークバランスが大切だということが分かった。
  - 学生のうちにたくさん勉強して多くのコミュニティと交流しておこうと思った。
  - 設備業界での仕事について知ることができて良かった。
  - 民間で働く女性の話が聞けたので貴重な体験だった。
- 楽しかった
  - レーダーチャートが面白く、自分のこだわりが分かった。
  - 自分の性格を見つめ直すことができ、進路を考えるのに参考になった。
  - 男性でも楽しく参加することができた。
  - グループワークで様々な結果が出たことが興味深かった。
  - 自分がどのようなことを重視しているか分かりやすかった。
- その他
  - 「就職する」ということについて改めて考えることができる良い機会になった。
  - 仕事の誇りを持っている人が多いんだなと思った。
  - 学生と社会人の違いを感じた。
  - 自分もやりがいのある仕事をしたいと思った。
  - 働く女性の意見や考え方を聞くことができて良かった。
  - 女性が働きやすい環境づくりの大切さを改めて感じた。
  - 男性社会で働く女性なので、気の強い方が多いのかと思ったが、女性らしい雰囲気のきれいな方ばかりで驚いた。
  - なぜ「設備女子」なのか？
  - この業界で女性が活躍することは業界全体にプラスになると感じた。
  - やりがいのある仕事につければ幸いだが、やりたくない仕事を頑張れるか、が必要と感じた。
  - 女性もやりがいを感じながら充実した生活を送っているようで安心できた。